

9月1日

菊地トミさん 100歳
(江刺南大通り)

百寿



江刺稲瀬で8人きょうだいの長女として生まれました。2男4女をもうけ、孫10人、ひ孫2人に恵まれています。にぎやかなことが好きで、演歌や童謡を歌うのが得意なトミさん。長生きの秘訣は、食べ物に感謝し、何でも食べることにあります。「どうもいつもありがとうございます」と感謝の涙を浮かべました。

9月1日

千葉マサヨさん 100歳
(前沢生母)

百寿



前沢生母で生まれ、17歳の時に故・卯三郎さんと結婚。3男2女をもうけ、孫9人、ひ孫16人に恵まれています。デイサービスで友人と話すのが楽しみで、好き嫌いを何でも食べるのが長寿の秘訣。「たくさんの人にお祝いしてもらいたい。孫たちに支えられて楽しく暮らしています」と笑顔で話しました。

9月9日

佐竹きえ子さん 100歳
(水沢姉体町)

百寿



宮城県栗原市で生まれ、24歳で故・正さんと結婚。1男3女をもうけ、孫7人、ひ孫10人に恵まれています。長寿の秘訣は、くよくよせず前向きでいること。日課の散歩では若い頃口ずさんでいた曲をよく歌うそうです。「よくここまで生きて思う。みんなと暮らせてとても楽しい」とにこやかに話しました。

9月13日

市民劇で日本文化を体験

イベント



市国際交流協会は、国際交流を深めてもらおうと、おしゃべりカフェを開きました。この日は8カ国から約30人が参加。日本文化体験教室では「奥州市民☆文士劇」の市民キャストが刀を使った殺陣の演技を披露し、参加者からは歓声が上がりました。その後、参加者も帯に刀を差し、日本文化を肌で感じました。

9月14日

有事に備え対応を確認

市政



市は、新型コロナウイルス感染症に対応した、避難所運営の訓練を行いました。保健師の指導の下、防護服の着脱訓練を行ったほか、専用避難スペースや動線を確認することなどを確認。段ボールパーテーションや段ボールベッドの設置訓練も行った。

9月16日

千葉昌子さん 100歳
(胆沢若柳)

百寿



神奈川県川崎市で生まれ、24歳で故・順義さんと結婚。順義さんの実家がある若柳に来て呉服店を営みました。2男1女をもうけ、孫6人、ひ孫9人に恵まれています。チャレンジ精神旺盛で、日本人形を作ったり、大正琴をしたりと、いつも前向きで明るい昌子さん。家族に囲まれ、和やかな贈呈式でした。

9月17日

松戸ハルヨさん 100歳
(胆沢小山)

百寿



胆沢小山で生まれ、18歳の頃に故・平助さんと結婚。3男4女をもうけ、孫12人、ひ孫8人、やしやご2人に恵まれています。着物の仕立てが上手で、早くて丁寧な仕事に依頼が絶えなかったそうです。最近ではパズルや計算問題にも挑戦するほど努力家。百歳を迎え「長生きしたなあ」と家族と喜び合いました。

9月18日

世界農業遺産登録に向け
1次審査通過

イベント



束稲山麓地域の世界農業遺産・日本農業遺産認定に向けた、農林水産大臣への申請が1次審査を通過しました。今後、専門家委員などによる現地調査や来年1月の2次審査を経て、来年2月に決まる日本農業遺産認定と、国連食糧農業機関による世界農業遺産への認定申請承認を目指します。

9月21日

年祝連躍動 規模縮小し
第47回江刺甚句まつり開催

イベント



延期されていた第47回江刺甚句まつりが、規模を縮小し、感染症防止対策を講じて開催されました。昨年末から準備を進めてきた42歳年祝連絆勇陣と25歳年祝連結碧蓮は、待望のまつり開催にはじける笑顔で演舞を披露。開催できた喜びと関係者への感謝の思いに、目に涙を浮かべる一幕もみられました。

9月25日

小野寺トクヨさん 100歳
(胆沢若柳)

百寿



胆沢若柳で生まれ19歳で故・一雄さんと結婚。1男2女をもうけ、孫4人、ひ孫4人に恵まれています。農家の手伝いなどで家計を支え、力仕事から家事育児、裁縫編み物と何でもこなしました。長寿の秘訣は何でも食べることに、働いて培われた体力。大好きなお花と家族に囲まれ「幸せだ」と笑顔で喜びを話しました。

9月26日

人口減少時代における公共施設のあり方は

市政



市は「将来の公共施設を考えるタウンミーティング」を開催しました。一般公募者のほか、厄年・年祝連、青年団体などから19人が参加。施設の再編や複合化などをテーマに意見を交わしました。参加者からは、まちににぎわいをもたらす仕掛けや、企業と協力し商業的機能を併設するといったアイデアが出されました。